

まえがき

私はこの本の主人公「まい」39歳、独身、東京でひとり暮らしをしています。子供のころから東京でキャリアを積んで成功することを夢見て上京したのが21年前、短大を卒業後は念願の会社で営業の仕事につき、激しい競争の中やりがいを感じつつも知らぬ間に心身ともに疲れ果て会社へ行くことがツラくなって退職……今はバイトを2つ掛け持ちしながら時間とお金に追われる生活を送っています。気がつけば結婚のタイミングを逃していました。20代のころに結婚を考えた彼がいたけれど、私は夢を叶えたかった、仕事が楽しくて夢中だったのです。

結局彼とは別れ、私は自分の仕事にすべてを注いでいました。友達は家庭を築いていくなか焦る気持ちがないと言えばウソになるけれど、私は走りつづけていたのです。けれど今、夢も失い、お金も時間もない、彼氏もない私が手にしたものは結局何もなかったのです。

私の選択が間違っていたの？ あのと看、結婚していたら人生は変わっていたのかな？ そしたら今ごろ子供がいて親孝行ができたかもしれない……。自分を責めても何も変わらな

いとわかつていけるけれど、責めなくなるほどに悲しかった。田舎にいる両親からの結婚のプレッシャーにも感情的になるほど私は追い詰められていました。

そんな私の心を支えてくれたのは愛犬のチロ（オス）です。私が孤独と不安に押しつぶされそうで涙を流している夜、そっと私に寄り添ってくれるのです。チロは私にとって最高の友達であり家族です。私がどんな人間でもすべて受け止めて味方でいてくれます。

私の家族についても少しお話をさせてください。私は山に囲まれた田舎町で生まれ育ちました。働きの者の両親と2歳上の姉がいます。姉はとても優秀で両親にとっては自慢でした。それに比べて私は、姉に勝てるものなど何もなく、地味な人生を歩いてきました。思えば「私なんて」「私はダメなんだ」と刃物のような言葉を自分に突き刺すようになっていたのは子供のころからだだったように思います。そのころからときどき、女性の声で私に語りかける夢を見るのです。

「気づいて」

「私はここにいます」

声の主を見つつけようとしても見つからない……しばらく見ることのなかったその夢を最近

また見るようになったのです。夢から覚めてもリアルな感覚……それが、すべての始まりでした。これから始まるのはこんな夢や希望を見失った私が恋も仕事もすべて手に入れ人生の大逆転を果たしたお話です。私だけではなくみなさんも人生大逆転ができるということ、新しく始めるのに年齢も、どんな環境にいてどんな状況であつても関係ないということを伝えたいのです。

ここで、この本の著者である愛からのご挨拶です。

こんにちは、この本を手にとったいただきありがとうございます！ 私はこれまで、占い師としてたくさんの方の悩みを聞いてきました。自分の夢を見失い、出口の見えないトンネルの中を必死でもがきながら生きている方が多いことに驚きまた、自分の能力に気づかず、合わない環境の中で本来の力を出せずに自信を失っている方を見てやりきれない気持ちを感じていました。誰もが能力を持ち、自分に合った場所で自分の特性をいかした行動をとることで、自分だけの大輪の花を咲かせることができますのです。

人生における選択の一つひとつが自分の現実を作ります。この本を読み進めるうちに、ど

のように選択・決断・行動をすればよいのか？ 魔法の言葉を唱えることでもたらされるものは何か？ これがわかれば、波に乗ったように望んだ未来に導かれていくことを実感されるでしょう。間違えて終わりではないです。そこからまた選択して夢を実現していきましよう！

さあ旅の始まりです。